

進路だより



大阪市立築港中学校 キャリア教育担当 3年生

No.3 H27.5.11

修学旅行も目前に迫ってきていますが、その後に第1回の実力テストもすぐあります。大きな行事の合間にテストがあり、忙しい中、自分の進路も具体的に決めていかなければなりません。今日は、進路決定までの流れを中心に改めて、どのように進路を決めていったらいいのかを考えてみましょう。

①進路を考える。＝ 自分の生き方を考える。

どんなことを大切に生きていくか。

自分にとって、大切な物は何か？

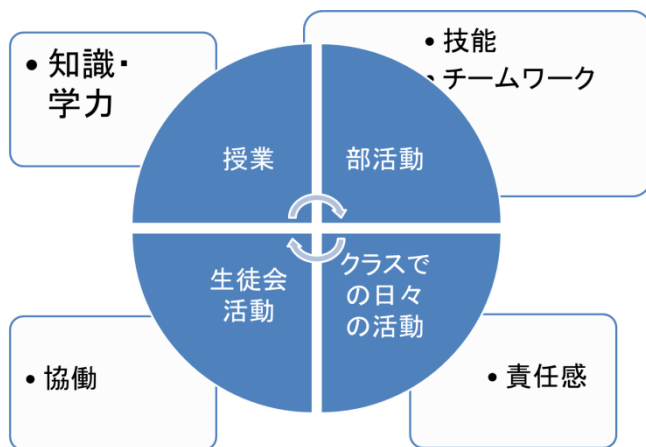
自分の特性や性格、実力もしっかり見極める。



どんな基準で高校を選ぶか？

知名度、通学時間、設置学科、大学進学率、クラブ活動、カリキュラム、取得資格
校舎設備、雰囲気、先輩からのアドバイス、制服、校則、費用、共学（ ）

②毎日の中学校生活で、とても大切なことを学んでいます。



1年生

働くことの意味
仕事調べ

2年生

自分を知る。
職場体験
高校訪問

③3年生での進路選択の流れ

6月中旬 第1回実力テスト

下旬 期末テスト

7月初旬 期末懇談

夏休み 様々な見学会、体験入学、クラブ体験、説明会
実際、進学しないかもしれないけれど、気になる高校には足を運んでみる。
受検勉強のスタート（1、2年生の基礎の復習）

9月初旬 第2回実力テスト 高校出前授業

10月初旬 進路二者懇談

中間テスト


大阪市統一テスト

この間に文化祭もある。

高校訪問でも「行ってみたら
色々なことが分かった」とい
う人が多くすごく重要

この間に体育大会がある。

進学にすごく重要な要素になる。

1 1 月初旬	第3回実力テスト	とても入試には大きな要素
中旬	進路三者懇談	
下旬	期末テスト	
1 2 月初旬	第4回実力テスト	
	進路三者懇談（私立、公立特別選抜決定）	
冬休みまでに	私立へ願書を個人で取りにいく（2部）	
冬休み	私立の過去の問題に取り組みつつ実力の勉強	
1 月初旬	私学教育相談、第5回実力テスト	公立入試での力を図る
下旬	私立出願 学年末テスト	
2月10日	私立入試	実技のある専門学科だけ
15日	公立特別選拔出願 進路三者懇談（公立一般選抜決定）	
22日	公立特別選抜入試	この間2日間、特別選抜がだめだったらという一般という考えは難しい。
3月 1日	公立特別選抜合格発表	
3日	公立一般選拔出願	
10日	公立一般選抜入試	特別選抜以外の公立は全て 公立入試は ほぼ一発勝負
18日	公立一般選抜合格発表	

④高校にかかる費用

公立高校 初年度 約20万円
 （所得によって国の支援金があり授業料無償）

私立高校 初年度 約70万円
 （平成27年度 所得によって府の助成金があり授業料無償、ただし入学後申請してお金がおりにてくるのは11月）

⑤奨学金

大阪府育英会奨学資金（貸付）

秋に予約申し込み **岡崎先生**

大阪市奨学費 （給付）

高校進学後申込み **入学必要経費の領収書は保管しておくこと。**



⑥今年度の入試結果

私立高校 私学教育相談が芳しくない生徒は不合格になっていた。

公立前期 43名受検して5名不合格

進路懇談で難しいと言われた生徒の中で不合格になった。

特に咲くやこの花高校は当日のテストの結果が大きい。

公立後期 100%合格

⑦高校は中学校とは違う

欠点、停学、退学があり、留年すると進級できない。

⑧進路選択で重要なこと

進路懇談で担任の先生と十分話し合うこと。

家族に自分の思っていることを話し、家族の思っていることも聞くこと。

